

委員会レポート

委員会では、付託された議案等の審査や所管する事項の諸問題について調査を行っています。

先進地から学ぶ・・・

行政視察

の結果を報告します

今回は教育厚生委員会が以下の日程で先進地の視察を行いました。

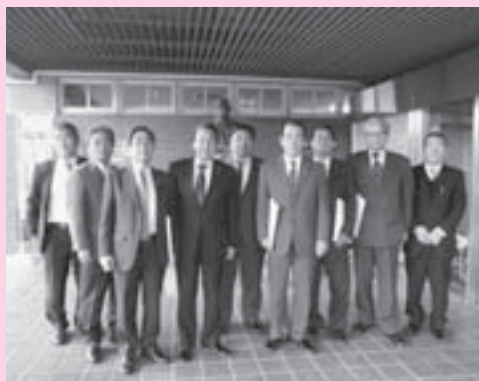
視察期間 11月12日～13日

- ①認知症にやさしい地域づくりネットワーク事業
- ②教育支援隊事業

また、模擬徘徊訓練の実施により、実際の情報伝達・対応までの時間や課題について検証が行なわれていました。行方市では、搜索に防災無線を使用していますが、将来的に高齢化が進むことを考えると組織的なネットワークづくりや、認知症に対する啓発を進める必要があります。

沼田市では、認知症にやさしい地域づくりを目指し、平成16年度から関係する機関・企業・団体及び、電力会社、宅配業者、郵便局、NTTなどに業務に併せた見守りと所在不明時の情報提供を依頼し、また、搜索窓口である地元警察署に24時間連絡できる体制を整備してきました。

群馬県沼田市



群馬県沼田市役所

太田市では、教育支援隊事業として、個別に支援が必要な児童生徒に対するきめ細やかな指導のための市独自施策を実施しています。

この事業は、平成10年度に開始され、小学校の国語・算数、中学校の国語・数学・英語における20人以下の少人数クラス編成やティームティーチングによるきめ細やかな指導により学力向上を図ってきました。

平成24年度以降は、「おたん教育支援隊」として、各小中学校に臨時職員1名を配置し、少人数指導を改編し、個別指導の充実を図るため市内の学校課題解決に向けて取組んでいます。

これらの取り組みは、児童・生徒の基礎学力の定着や学びに対する達成感につながり、保護者からも継続希望の意見が出されています。

行方市は現在、学校の適正配置計画を進めているところですが、小中一貫教育を試行して内容が検証されれば、少人数指導と人員増も検討の必要があります。

群馬県太田市

～被害を乗り越えるために～

台風26号被害復旧及び防災対策への支援を求め県知事に意見書を提出

行方市議会では、12月12日に台風26号被害復旧及び防災対策への支援を求める意見書の提出が可決されました。

風水害の現状を訴え、復旧への支援を求めるため橋本 昌 茨城県知事に意見書を提出しました。



橋本県知事に意見書を提出
(平成25年12月26日 茨城県庁)